学校番号	410

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	ペン習字の基礎　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校で学んだ書写を発展させて、様々な古典の鑑賞、臨書を通じて、古典の歴史的背景に思いを馳せながら追体験をし、毛筆の技法を身に付けましょう。
・練度を高めることで、鑑賞力、集中力を養う。
・創作をすることで、感性を磨き、また相互に批評することで、言語活動の充実をはかり、他者の作品と人となりをより理解する力をつける

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、用具・用材の特徴を理解し適切に扱ったうえで、効果的な表現の技能を身に付け、表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	・国語科書写と芸術科書道 ・書道教室の使い方、書道道具の使い方、授業への取り組み方を学ぶ	○			○	a:基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。 用具・用材と表現との関係に関心を持ち、これから主体的に取り組もうと意欲を高めている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、様々な書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート
	筆に慣れよう　一字書創作	・筆の特徴を学び、様々な線で表現する ・行書で漢字一字を創作する	○	○			a:用具の特徴について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:用筆・運筆、墨色の違いにより、線質や表現が変わることを理解し、工夫している。 c:行書の表現効果を生み出している用筆法を理解し、技法上の工夫を試行している。 d：各々の個性豊かな表現の多様さ、美しさを感じ取り、鑑賞する力を養う。	観察 レポート ポートフォリオ 提出作品
	漢字の書　行書　蘭亭序を学ぶ	・行書の特徴を踏まえ、基本的な用筆法、運筆法を学ぶ。 ・王羲之及び蘭亭序の歴史について理解する。			○	○	a:行書の流動美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。 b:行書の古典の技法を理解し、完成を高め、表現を構想する力を養う。 c:行書の古典の臨書を通して、様々な表現技法を身に付けるとともに、自らの創造的な表現に生かそうとしている。 d:行書の古典の表現効果や美を感じ取り、鑑賞する。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

	行書　風信帖を学ぶ	・行書の書風の違いについて理解する。 ・空海の書や歴史を理解する。		○	○		a:歴史的背景や人物によって書風が違うことを感じ取り、主体的に表現しようとしている。 b:風信帖の特徴的な和様の表現を把握し、その用筆や技法上の工夫を理解しようとしている。 c:中国の書法を消化した日本の書法技術を理解しようとしている。 d:書状という形式による表現の違いや、中国の行書との違いを感じながら、鑑賞している。	観察 ポートフォリオ 提出作品
2学期	楷書を学ぶ	・楷書古典の臨書学習(唐の四大家)により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学び、風趣の違いを理解する。	○		○		a:様々な楷書を鑑賞し、字形や用筆の特徴による書風の違いに、関心を持ち、理解しようとしている。 b:各古典の字形や用筆をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典に見られる、様々な表現技法を身に付けるとともに、それらを自らの創造的な表現に生かそうとしている。 d:唐を代表する楷書古典について理解し、唐の四大家、唐の太宗について理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字かな交じり文の創作	・漢字と平仮名の調和をはかりながら、個性あふれる豊かな表現を創作する。墨流しを施す。		○		○	a:漢字仮名交じりの書に関心を持ち、理解しようとしている。 b:用具・用材の特性を生かした線質を理解し、構成を工夫し、漢字と仮名をうまく調和させながら、様々な表現に意欲的に取り組んでいる。 c:紙面構成が与える印象や効果を理解し、表現したいイメージに合わせて工夫している。 d：友達の評価を参考にし、自らの鑑賞力を高めている。	観察 レポート ポートフォリオ 提出作品

3学期	仮名の書	・仮名の歴史の学習 ・基本用筆練習 ・いろはうた ・高野切第一種の臨書 ・短冊に臨書	○		○		a：日本独自の仮名の成立、日本の伝統的な仮名書の美しさについて理解しようとしている。 b：基本的な用具用材の知識や扱い方を理解し、身に付けようとしている。 c：単体や連綿、全体の構成などの書の美を感受し、表現を工夫している。 d：古典の特徴を的確に捉え、積極的に伝えている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
　　c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。